

ROTARY SANJO SOUTH

国際ロータリー会長：グレン E. エステス（米国）

第2560地区ガバナー：横山 芳 郎（新潟）

第四分区分会アシスタントガバナー：細井 増 雄（三条）

会長 石山 莊一 幹事 佐々木 常行 SAA 丸山 征夫

三条南ロータリークラブ事務局 三条市旭町2-5-10（三条信用金庫本店内）

TEL:35-3477 FAX:32-7095 e-mail:sanjo-ss@web-niigata.ne.jp

2004年10月25日 第1,718回

本年度 第11回例会



ロータリーを祝おう

100年の歩み

2004-2005

【出席率】 会員64名中48名

【先々週出席率】 95.00%

【ゲスト】 米山奨学生（加茂RC）孫 璐さん

【ヴィジター】 三 条より 五十嵐昭一君

【先週のメイクアップ】

10/5 三条北RCへ 永桶栄資君、坂本洋司君、佐藤秀夫君、渡邊久晃君

10/6 三 条RCへ 天田 匡君、馬場一敏君、野島廣一郎君、吉井正孝君

10/8 吉 田RCへ 馬場信彦君、坂井範夫君

10/14 加 茂RCへ 飯山勝義君

10/16 地区大会（新潟）へ 石山莊一君、佐々木常行君

10/17 地区大会（新潟）へ

石山莊一君、佐々木常行君、馬場一敏君、船久保孝志君
長谷川晴生君、木原 崇君、熊倉高志君、菰澤喜一郎君
野中 悟君、佐藤栄祐君、谷 晴夫君

【会長挨拶】 石山 莊一 会長

中越地区にまた災害が起きました。7.13水害もようやく落ち着きやれやれと思っている矢先に、今度は大地震が23日午後6時頃に発生しました。時間が経つにつれ被害の大きさに驚いております。被害に遭われた方の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

10月8日、馬場一敏会員のお父様が亡くなられ、佐々木幹事と通夜式に参列して参りました。ご冥福をお祈り申し上げます。

11日、2004～05年度国際ロータリー第3750地区韓国GSEメンバー5名が来条、南

クラブは11日が担当で国際奉仕副委員長の坂本洋司さん、丸山征夫さん、佐々木幹事、私の4名で10時にアクアホテルに出迎え、その足で保内の植木祭りを見学。GSEメンバーの2名の方が造園計画、都市計画を勉強されておられ熱心に隅から隅まで見学されておられました。昼食は魚作さんにて、白倉さんに特別に腕を揮っていただき懐石料理を嗜み、皆さんとても喜んでおられました。午後は、坂本さんの案内でホームセンタームサシを見学、3時過ぎには越前屋ホテルに帰着、休憩の後二洲楼で3クラブ合同歓迎会を開催。GSEの方々は感激され日本の風習に少し驚いている様子でした。



16日～17日は地区大会に出席して参りました。16日は佐々木幹事と午後から出席、RI会長代理の挨拶並びに現況報告を受け、ようやくロータリーの中身が少しずつ理解出来てきたような気が致しました。二日目はホテル新潟にて8:30～16:50まで本会議が行われ、私だけかも知れませんが、感想は大変疲れました。出席されました会員の方々大変ご苦労様でした。

但し、17:10からのボニージャックスを招いての「ロータリーの夕べ」は大変楽しく、19:30終了後3クラブ全員で三条に戻って参りました。

27日(水)には3クラブ合同の横山ガバナー公式訪問が開催されます。全会員の参加をお願い申し上げ、会長挨拶を終わらせていただきます。



米山梅吉記念館 功労賞 (記念館への特別寄付に対して・・・年間100円×会員数を寄付)

ガバナー賞 (ロータリー財団年次寄付・米山記念奨学金寄付に対して)



幹事報告

船久保孝志副幹事

○社会福祉法人 青空福祉会 設立記念式のご案内

日 時 平成16年11月13日(土) 10:00～12:00
会 場 三条市総合福祉センター
記念講演 新潟青陵大学 福祉心理学部助教授 斎藤敏靖様
「これからの精神保健福祉について」

○三条市青少年育成市民会議より

「感謝と新たな出発の集い」感謝状の贈呈のご案内

日 時 平成16年11月23日(火・祝) 18:00～
会 場 ハミングプラザVIP

ニコニコBOX

～ 10月25日¥37,000 今年度累計¥322,560 ～

- 石山君 10月23日の地震には大変驚きました。被災された皆様の一日も早い復興をお祈り申し上げます。
- 船久保君 佐々木幹事が出張の為代理で幹事報告させていただきます。
- 馬場(一)君 父の通夜、葬儀に出席していただき有難うございました。お蔭様で滞りなく終わりました。
- 吉井君 米山月間事業です。加茂RCさんのご紹介で孫さんをお迎えしました。最後までごゆっくりお過ごし下さい。
- 田中(正)君 日照りの夏、水害、地震と続きましたが、平穏無事を祈りましょう。
- 佐藤(譲)君 皆様がお元気でおりますようお祈り申し上げます。
- 吉田(秀)君 プ高速道でバースト。ハイウェーパトロールがタイヤ交換をしてくれました。お年寄りが親切にされ良い事もあります。
- 馬場(信)君 お蔭様で「よっかまち店」は10月8日にOPEN致しました。予定通り順調です。また、地震は驚いておりますが、今のところ被害はなく喜んでおります。
- 長谷川君 新潟中越地震の被災地の皆様へ、衷心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復興をお祈り致します。
- 鈴木(圀)君 ○米山奨学生の孫さん、ようこそいらっしゃいました。
○今回の地震には驚きました。
- 佐藤(栄)君 地震、雷、火事、親父・・・次に来るものは？
- 相田君 新潟県中越地震、被災された皆様にお見舞い申し上げます。
- 滝口君 地震の時は大阪にいましたが、帰ってきて被害がなくホッとしました。

嘉瀬君 今年の異常気象はどうなったのでしょうか。夏は連日真夏日、大水害、地震と続けば後は冬の大雪でしょうか。雪だけは戴けません。

坪井君 水害、台風、そして今度は地震です。災害日本、一体どうなるのでしょうか。

坂本君 今度の地震で店舗が被害に遭いましたが、けが人は出ませんでした。不幸中の幸いです。

田代君 中越大地震被災者の方々にお見舞い申し上げます。

荒澤君 結婚祝いの花をいただきました。

西巻君 10月21日、結婚祝い（バラの花）を戴き、夫婦共に喜びクラブに厚く御礼申し上げます。

永桶君 久しぶりのロータリーです。

安達君、白倉君、鈴木（幸）君、田中（久）君、田中（悌）君、渡邊君
BOXに協力致します。

住谷君 ボックスにご協力有難うございました。

11月のお祝い

【会 員 誕 生】

3日・・・目黒義雄君	4日・・・木原 崇君
6日・・・岡村一男君	26日・・・永桶栄資君
29日・・・船久保孝志君	

【御夫人誕生】

8日・・・武藤良子（昭三）さん

【結 婚 記 念】

1日・・・西野治邦君・敏江さん	12日・・・野中 悟君・恵美子さん
15日・・・佐藤秀夫君・千枝さん	21日・・・竹山昭二君・賢子さん
29日・・・赤塚 寧君・康子さん	

★ おめでとうございます

■□■ 米 山 月 間 ■□■

「日本の観光業」 米山奨学生 孫 璐 さん（加茂RC・新潟大学大学院）

私が、日本語を勉強し始めた頃によく耳にした言葉の中に、過労死という日本語があります。それは、長時間過密の働きすぎによる突然死のことです。日本の交通事故による年間犠牲者の数

とほぼ同じです。

現代日本人の労働時間は、欧米諸国に比べて長いです。日本労働省が毎年発表する『労働白書』1994年版によると、1993年の年間総実労働時間は1,920時間で、スウェーデン、ドイツ、フランスより年間300時間以上長いです。労働時間の長さは、自由時間を圧迫します。そのため、日本の余暇は貧しいとよく耳にします。長期休暇は1週間以下が普通、それも土日込みで家族が故郷に帰る盆と正月前後に集中し、高速道路の渋滞は数十キロになります。

私から見ても日本の生活はなかなか余裕を感じられません。日本に住んでいると、休みの日に家にいることが休養にならないのです。新潟の生活を例としてみると、家が狭くて窓を開けても隣の家がぐっと迫り、学校の回りはカラスだらけで、新潟ではよく目にする光景です。仕方がないから出かければ道は大混雑だし、レジャー施設とか美術館、レストランなんかも混んでいていつも待たされることになります。無意味な時間、お金ばかりかかってしまい、日本のリゾート地へ行っても仕事のことで頭の中がいっぱいで、ゆっくり滞在なんてする気になれないという人もたくさんいると思います。

21世紀の観光業はグローバルな産業になっていくと思われます。国によっては、観光が経済を支えているところもあります。しかし国際的に見て、日本人の観光や余暇に対する認識はまだまだいろいろな意味で薄いと指摘されています。

緩やかな経済成長という長期的な予測のもとで、日本の経済は現在緩やかなデフレ状態にあり、今後の景気は厳しい状況にあります。観光も量的拡大を望むばかりではなく、質の高い持続的な観光を構築することが今後の課題だと私は思います。

観光立国の競争は激烈な時代を迎えています。大観光資源を有する日本の近隣、私の祖国中国が観光立国に向けた競争に本格的に取り組み、2008年の北京オリンピック、2010年の上海万博は世界にそのベクトルを示す見通しとなります。その中、外国人観光客を誘致する地域振興を図る計画は、日本国内旅行産業に構造変革の波が押し寄せています。さらに、世界最速で高齢化が進む日本では、市場にいかに対応するのか、高齢世代に向けて観光業界が新たな狙いをつけます。近いうちに50才とその家族をターゲットとし、新世代を相手に取り組む勝負が観光業界で静かに幕を開けました。そして、35億円の政府予算は国内旅行を復活させる最強の切り札となりました。長い歴史を持つ日本観光業が完全に立ち上がる日までそう遠くないと私は思います。

四つのテスト

一言行はこれに照らしてから

I 真実か どうか

III 好意と友情を深めるか

II みんなに公平か

IV みんなのためになるか どうか

